

【習得している知識・技能等】

- ・基本的な情報処理の仕組みに関する知識
- ・基本的な情報利用の仕組みに関する知識
- ・情報モラルに関する知識

設定した言語活動を通して育てたい力

- 目的や条件に応じて、利用するメディアを社会的、経済的側面などから比較・検討することによって、利用者に配慮したデジタル作品の設計ができる。

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 題材名 保護者や地域に伝えたい学校紹介Webページ的设计・制作
- ◇ 本時の目標 目的や条件に応じてデジタル作品の設計をすることができる。
- ◇ 学習の流れ(3時間/全10時間)

《本時での活用とは》
既習事項であるD(1)のA、イ、ウで学んだ内容を活用して、デジタル作品の設計を行う。

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価基準〔観点〕 (評価方法)												
1 課題意識をもたせる。	◇事前に用意した他校のWebページを閲覧させ、メディアの選択や効果的な表現方法についてのポイントをメモに取らせ、検討の際の参考にさせる。 ・目的に合ったメディアの選択、組み合わせ方 ・ファイル・サイズ ・著作権や個人情報 ◇各自が事前に考えた構想(伝えたいテーマ・内容)について確認する。	保護者や地域に伝えたい学校紹介Webページをつくらう 制作の目的：生徒会行事や体育祭、文化祭について紹介する。 対象者：保護者や地域の方												
2 本時のめあてを確認する。	各グループで、伝えたいテーマごと、利用するメディアを社会的側面や経済的側面などから比較・検討して、決定しよう。	文化祭のページ(4班) 伝えたいテーマ・内容 <テーマ①> 文化祭にけるクラスの想い 内容 ・今回の文化祭テーマ ・クラスの文化祭実行委員のあいさつ ・文化祭当日までの取組の軌跡												
3 グループごとに、保護者や地域に伝えたい内容について、使用するメディアを検討し、決定する。	◇保護者や地域に伝えたい内容について、グループごとに社会的側面や経済的側面などを意識させながら、使用するメディアの検討をさせる。(①) ◆メディアの効果的な表現方法が分からない生徒には、机間指導でタブレットを持ち回り、イメージできないメディアについて個別に指導を行う。(ICTの活用) ◇グループごとに、検討したことを基に使用するメディア(使用するソフトウェア)を決定させ、留意点を確認させる。(②)	文化祭のページ(4班) 伝えたいテーマ・内容 <テーマ②> クラス発表について 内容 ・クラス全員が一生命歌っている姿 指揮者、伴奏者が頑張っている姿												
<p>(例)文化祭のページ <4班></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>伝えたいテーマ・内容</th> <th>使用するメディアの検討(①)</th> <th>使用するメディア メディア(ソフトウェア)の決定及び留意点(②)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><テーマ①> 文化祭にけるクラスの想い 内容 ・今回の文化祭テーマ ・クラスの文化祭実行委員のあいさつ ・文化祭当日までの取組の軌跡</td> <td>【社会的側面】 ・テーマやあいさつは、文字情報にして目立つようにする。 ・あいさつは、音声でもよいのではない。 ・取組の軌跡は、写真があると取組の流れが分かってよい。その際、写っているものの著作権、肖像権に気を付ける必要がある。 【経済的側面】 ・文字情報の背景は、薄い感じにしないと、印刷したときにインクの消費が早くなる。 ・写真は、画質や写真の枚数を考えないと、デジタル化したとき、データ量が多くなって記憶容量を多く使ってしまう。</td> <td>■使用するメディア ■文字(文書処理) ■静止画(図形処理) □動画(ビデオ編集) □音声(サウンド処理) ・テーマやあいさつは、正確に情報を伝えることができ、データ量が少ない文字にする。背景を濃い色にしない。 ・取組の軌跡は、当時の様子を伝えるため、静止画を使用する。静止画は、枚数を制限し、データ量は多いものは圧縮する。著作権、肖像権に注意する。</td> </tr> <tr> <td><テーマ②> クラス発表について 内容 ・クラス全員が一生命歌っている姿 指揮者、伴奏者が頑張っている姿</td> <td>【社会的側面】 ・入退場を含めて一人一人が頑張っている姿は、映像が分かりやすい。 ・Web ページは、誰からでも見られるので、顔ははっきり分らないようにし、映像を公開することの許諾を全員から取る必要がある。 ・合奏曲は、Web ページ上で流して問題ないかの確認が必要である。 【経済的側面】 ・全て映像にするとデータ量が多くなるので、動きをスムーズにするためサビの部分だけにして、データ量を少なくした方がよいのではない。</td> <td>□文字(文書処理) □静止画(図形処理) ■動画(ビデオ編集) □音声(サウンド処理) ・一人一人の頑張っている姿を伝えるため、動画にする。データ量は多くなるが、一部だけでは伝わらないので全て流す。入退場の部分はカットする。 ・動画編集の際、個人が分かりにくいようにして、全員から、映像使用の許諾を取る。 ・合奏曲の著作権について確認する。</td> </tr> <tr> <td><テーマ③> 文化祭を終えて 内容 ・文化祭を通して学んだこと ・今後につなげたいこと</td> <td>【社会的側面】 ・文字にすると情報量が多くなり、伝えたいことが十分伝わらない可能性がある。 ・感情や雰囲気伝えるため、インタビューをして音声として伝えるのがよいのではない。その際、音声を公開することの許諾を取る必要がある。 【経済的側面】 ・音声にすると、データ量が多くなる。</td> <td>□文字(文書処理) □静止画(図形処理) □動画(ビデオ編集) ■音声(サウンド処理) ・データ量は多くなるが、感情や雰囲気を伝えるため音声にする。音声が流れる人から使用の許諾を取る。</td> </tr> </tbody> </table>			伝えたいテーマ・内容	使用するメディアの検討(①)	使用するメディア メディア(ソフトウェア)の決定及び留意点(②)	<テーマ①> 文化祭にけるクラスの想い 内容 ・今回の文化祭テーマ ・クラスの文化祭実行委員のあいさつ ・文化祭当日までの取組の軌跡	【社会的側面】 ・テーマやあいさつは、文字情報にして目立つようにする。 ・あいさつは、音声でもよいのではない。 ・取組の軌跡は、写真があると取組の流れが分かってよい。その際、写っているものの著作権、肖像権に気を付ける必要がある。 【経済的側面】 ・文字情報の背景は、薄い感じにしないと、印刷したときにインクの消費が早くなる。 ・写真は、画質や写真の枚数を考えないと、デジタル化したとき、データ量が多くなって記憶容量を多く使ってしまう。	■使用するメディア ■文字(文書処理) ■静止画(図形処理) □動画(ビデオ編集) □音声(サウンド処理) ・テーマやあいさつは、正確に情報を伝えることができ、データ量が少ない文字にする。背景を濃い色にしない。 ・取組の軌跡は、当時の様子を伝えるため、静止画を使用する。静止画は、枚数を制限し、データ量は多いものは圧縮する。著作権、肖像権に注意する。	<テーマ②> クラス発表について 内容 ・クラス全員が一生命歌っている姿 指揮者、伴奏者が頑張っている姿	【社会的側面】 ・入退場を含めて一人一人が頑張っている姿は、映像が分かりやすい。 ・Web ページは、誰からでも見られるので、顔ははっきり分らないようにし、映像を公開することの許諾を全員から取る必要がある。 ・合奏曲は、Web ページ上で流して問題ないかの確認が必要である。 【経済的側面】 ・全て映像にするとデータ量が多くなるので、動きをスムーズにするためサビの部分だけにして、データ量を少なくした方がよいのではない。	□文字(文書処理) □静止画(図形処理) ■動画(ビデオ編集) □音声(サウンド処理) ・一人一人の頑張っている姿を伝えるため、動画にする。データ量は多くなるが、一部だけでは伝わらないので全て流す。入退場の部分はカットする。 ・動画編集の際、個人が分かりにくいようにして、全員から、映像使用の許諾を取る。 ・合奏曲の著作権について確認する。	<テーマ③> 文化祭を終えて 内容 ・文化祭を通して学んだこと ・今後につなげたいこと	【社会的側面】 ・文字にすると情報量が多くなり、伝えたいことが十分伝わらない可能性がある。 ・感情や雰囲気伝えるため、インタビューをして音声として伝えるのがよいのではない。その際、音声を公開することの許諾を取る必要がある。 【経済的側面】 ・音声にすると、データ量が多くなる。	□文字(文書処理) □静止画(図形処理) □動画(ビデオ編集) ■音声(サウンド処理) ・データ量は多くなるが、感情や雰囲気を伝えるため音声にする。音声が流れる人から使用の許諾を取る。
伝えたいテーマ・内容	使用するメディアの検討(①)	使用するメディア メディア(ソフトウェア)の決定及び留意点(②)												
<テーマ①> 文化祭にけるクラスの想い 内容 ・今回の文化祭テーマ ・クラスの文化祭実行委員のあいさつ ・文化祭当日までの取組の軌跡	【社会的側面】 ・テーマやあいさつは、文字情報にして目立つようにする。 ・あいさつは、音声でもよいのではない。 ・取組の軌跡は、写真があると取組の流れが分かってよい。その際、写っているものの著作権、肖像権に気を付ける必要がある。 【経済的側面】 ・文字情報の背景は、薄い感じにしないと、印刷したときにインクの消費が早くなる。 ・写真は、画質や写真の枚数を考えないと、デジタル化したとき、データ量が多くなって記憶容量を多く使ってしまう。	■使用するメディア ■文字(文書処理) ■静止画(図形処理) □動画(ビデオ編集) □音声(サウンド処理) ・テーマやあいさつは、正確に情報を伝えることができ、データ量が少ない文字にする。背景を濃い色にしない。 ・取組の軌跡は、当時の様子を伝えるため、静止画を使用する。静止画は、枚数を制限し、データ量は多いものは圧縮する。著作権、肖像権に注意する。												
<テーマ②> クラス発表について 内容 ・クラス全員が一生命歌っている姿 指揮者、伴奏者が頑張っている姿	【社会的側面】 ・入退場を含めて一人一人が頑張っている姿は、映像が分かりやすい。 ・Web ページは、誰からでも見られるので、顔ははっきり分らないようにし、映像を公開することの許諾を全員から取る必要がある。 ・合奏曲は、Web ページ上で流して問題ないかの確認が必要である。 【経済的側面】 ・全て映像にするとデータ量が多くなるので、動きをスムーズにするためサビの部分だけにして、データ量を少なくした方がよいのではない。	□文字(文書処理) □静止画(図形処理) ■動画(ビデオ編集) □音声(サウンド処理) ・一人一人の頑張っている姿を伝えるため、動画にする。データ量は多くなるが、一部だけでは伝わらないので全て流す。入退場の部分はカットする。 ・動画編集の際、個人が分かりにくいようにして、全員から、映像使用の許諾を取る。 ・合奏曲の著作権について確認する。												
<テーマ③> 文化祭を終えて 内容 ・文化祭を通して学んだこと ・今後につなげたいこと	【社会的側面】 ・文字にすると情報量が多くなり、伝えたいことが十分伝わらない可能性がある。 ・感情や雰囲気伝えるため、インタビューをして音声として伝えるのがよいのではない。その際、音声を公開することの許諾を取る必要がある。 【経済的側面】 ・音声にすると、データ量が多くなる。	□文字(文書処理) □静止画(図形処理) □動画(ビデオ編集) ■音声(サウンド処理) ・データ量は多くなるが、感情や雰囲気を伝えるため音声にする。音声が流れる人から使用の許諾を取る。												
4 本時を振り返り、次時につなげる。	◇デジタル作品を設計する際、考えなければいけないことについて、自分の言葉でまとめさせる。 生徒のまとも例 ・見る人のことを考えて、伝えたい内容に合った効果的なメディア(文字、音声、静止画、動画など)を選択すること。 ・データ量が多い情報をWeb ページに使うと読み込みの時間がかかるため、静止画の画素数や枚数、動画の時間などを考えること。 ・情報を発信するときには、著作権や個人情報に配慮すること。 ◇次時は、決定したそれぞれのメディアについて、必要なソフトウェアを使って、作品を制作していくことを伝える。	・デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、経済的側面などから使用するメディアを比較・検討した上で、決定しようとしている。〔生活を工夫し創造する能力〕(ワークシート) ・利用者が安心して利用できる作品を設計しようとしている。〔生活や技術への関心・意欲・態度〕(ワークシート)												

社会的、経済的側面などを意識させて、検討させましょう。

★今使われている技術を多様な視点で評価できるようにします。